

防災公共について

青森県 県土整備部

平成24年4月10日

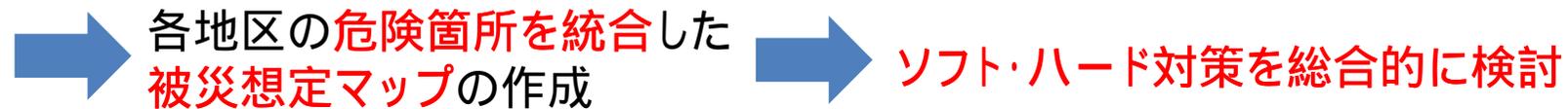
防災公共とは

これまでの取組

大規模災害時総合対策調査 (H21 ~ H22)

岩手・宮城内陸地震を教訓に、大規模地震発生時に起こる津波・土砂崩れなどの複合的な災害を想定し、孤立集落の解消を図るための調査を実施

各所管(道路、土砂災害、農林等)で把握している危険箇所を横断的なデータとして集積



東日本大震災を経て

防潮堤や海岸堤防等の海岸保全施設、河川堤防等の**構造物による災害を未然に防ぐ**対策を推進

東日本大震災
(想定外)

自然の力を構造物のみで**完全に抑えることは困難**
(膨大な対策が必要に)

構造物による「**減災**」を行いながら、**人命を守ることを最優先に「逃げる」**という発想を重視した防災対策が必要

防災公共とは

「**孤立集落をつくらない**」という視点に立ち、災害時において、**迅速な対応ができるよう危機管理体制の強化**を図るソフト対策とともに、**自治体や消防・防災組織が横断的に活用できるインフラ整備**を行うハード対策が一体となった取組

平成24年度の取組内容

危機管理体制の強化によるソフト対策の充実

津波防災マップ・避難計画策定支援事業（河川砂防課）

日本海側、陸奥湾内を対象に浸水予測図を作成（太平洋側はH23実施中）

津波ハザードマップ作成のワークショップを支援（主体は市町村）

地震・津波防災対策事業（防災消防課）

地震・津波による被害想定のため、基礎データの収集整理や地震動・液状化の解析を実施
被害想定にあたり、学識経験者等からなる検討委員会を設置

防災公共推進計画によるハード対策の充実

計画策定に必要な各種調査

農林漁業施設等防災機能強化事業（農村整備課）

農道・林道等の防災機能を評価し、避難路・輸送路としての活用を検討

人家等に影響のある大規模なため池について安全性の検証と対応策を検討

臨時ヘリポートの候補地選定（整備企画課）

孤立集落の解消策として場外離発着場の条件に合致する臨時ヘリポートの候補地を選定

応急仮設住宅供給迅速化事業（建築住宅課）

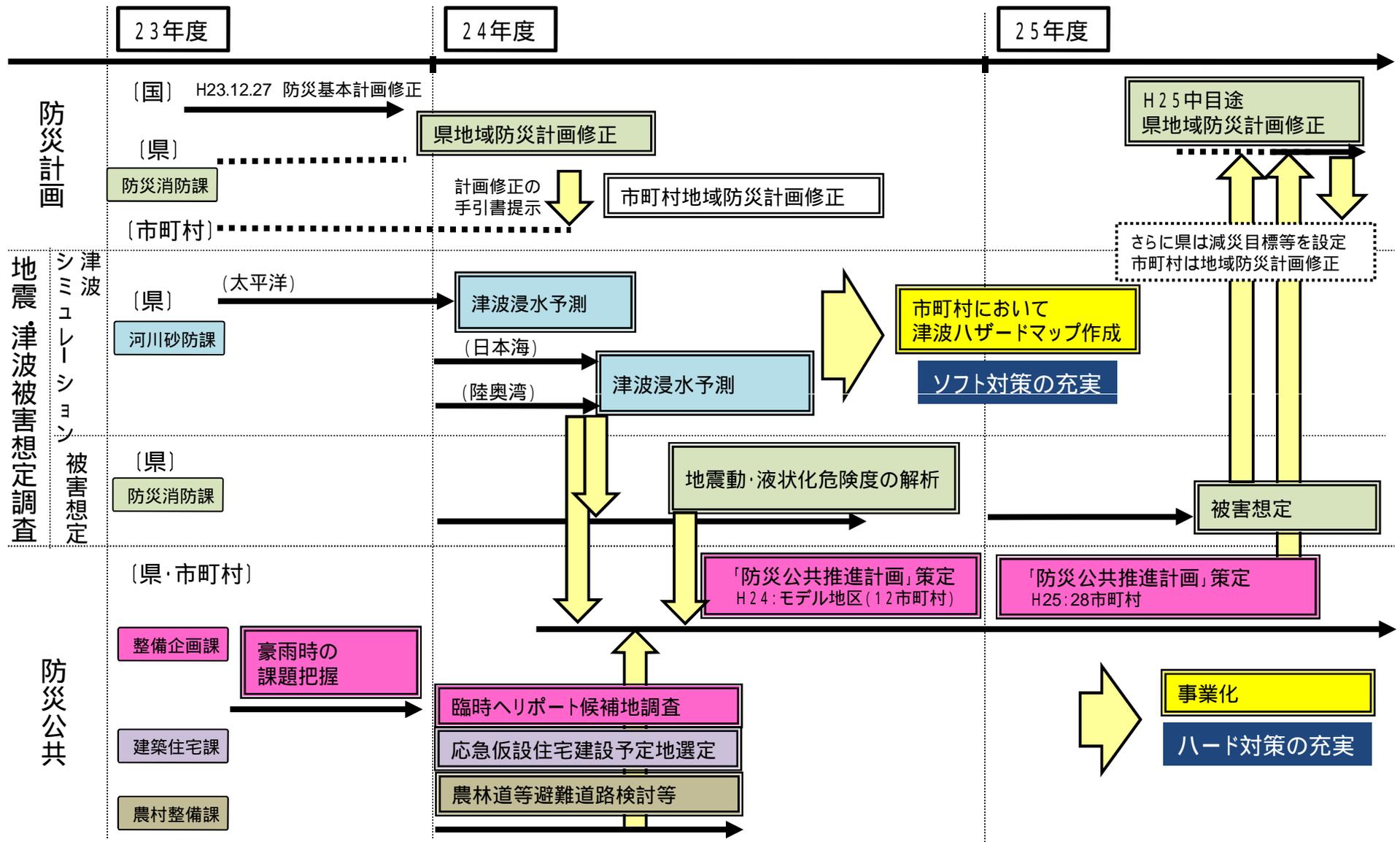
応急仮設住宅の建設予定地やそれ以外の公有地について、上下水道などのインフラ状況等を確認するとともに建設可能戸数を想定し、候補地を選定

計画策定

防災公共推進計画策定（整備企画課）

過年度の調査結果（地震・大雨の課題）や各種調査結果を基に、必要な対策や対策の優先度等を関係機関（県・市町村）が一体となり「防災公共推進画」を策定

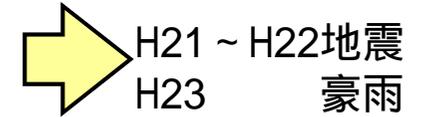
防災公共推進関係事業のフロー図



防災公共推進計画の策定

現状認識と共有

- 各管理者が把握している大規模災害時(地震、豪雨等)の想定危険箇所情報の面的、横断的な共有による現状認識の統一
- 現状の避難経路や避難場所等についての総合的な課題の洗い出し



防災公共推進計画の策定

- 最適な避難経路、避難場所を市町村、県が一体となって地域ごとに検証
- 現状に即した最も効果的な避難経路(国道、県道、市町村道、農道、林道等)、避難場所(既設避難所、交流施設、道の駅等)を確保するための重点的インフラ整備対象を設定
- 横断的連携により、効果が早期に発現される整備手法の選択

計画策定の実施方法

庁内ワーキンググループにおいて、避難経路、避難場所の検証方法等、基本方針を設定

各県民局単位においてもワーキンググループを設定
各市町村単位で計画を策定

県民局単位のワーキングにおいて
検討地区(集落単位)を抽出(ex孤立集落、津波浸水地区等)
検討地区ごとに、課題の確認、対策案・優先度を検討

